

---

# 猫の1日

うめ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

猫の1日

### 【Nコード】

N6252A

### 【作者名】

うめ

### 【あらすじ】

今日もバカ主との生活を繰り返す猫の1日

## （前書き）

初めて書いた小説です。おかしな所など多々あると思いますが読んでみてください。

## 《朝》

「めーい!!!」

今日も朝から煩い言葉と共に主が飛びついてくる。  
めいと言うのは私の名前だ。結構気に入っている。

そんなことより主から逃げねば！

主の手が届く寸前、一瞬早く主の手を回避。それで諦める主ではない。ジリジリと微笑を顔に携え詰め寄ってくる。

朝からこんなことして遅刻しないのか？と私は思う。

一瞬動きが止まった私を見て主は人間を超越した動きで手を伸ばした。くっ速い！避ける間もなく捕らえられてしまった。

捕まってしまった私は抵抗することなく主に体中をワシヤワシヤされた。

主は私を捕まえて満足したのかテレビで時間を確認した

「遅刻する~~~~っ！」

とバックを持ち凄いい勢いで外へ飛び出していった。窓から外を観て、小さくなっていく主を見つめ私は朝の朝食を終えいつものように主のベッドに忍び込み眠りについた。

## 《昼》

ふと目を覚ました私は時間を見る。

13時か・・・よく寝た。

それより暇だ。その理由は二軒隣の家に住む黒猫ボンが今日は来ていないからだ。まあ来たら窓越しに威嚇をするだけだが・・・来ないのはつまらない。私は家から出してもらえないので会いに行くことは不可能。

よって暇確定。ちなみに私は夜行性ではなく昼行性だ。産まれたときから人の生活に触れていたためかそうなった。なので昼に寝ることとはしない。

仕方がないので扉を開け階段へ行く。主の部屋は一階だからな。階段の一番上の窓枠まで移動した私は窓から外を眺めた。

この景色は結構好きだ。公園で遊ぶ子供などを観ることができから。お？太極拳をやっている老人を発見。一心不乱に型をしている・・楽しいのか？という疑問が頭をよぎったが気にしないことにした。生い先短い老人の趣味にケチをつけては失礼だからな。空の色が水色から赤へ変わってきた頃、主が帰ってくる姿があった。

## 《夜》

夕方帰ってきた主はパジャマに着替えるとそのまま眠りについてしまった。

起きてきたのは夜の9時だ。ぼーっとしながらご飯を食べる主。こぼしてるこぼしてる！！寝ながら食べるな！

にやゝ主に向かって一鳴き。

「ん？どした？ご飯食べたいんか？」

とバカ主。自分のご飯を私の前に出してくる。なんとなくム力ついたのでとりあえず手に噛みついてやった

「痛っ！めい！俺が美味しそうだからって噛むな！わかったか？」

流石バカ主。説教の仕方バカだ。

主はさっきまで寝てたくせにまた眠くなったのか私を抱き上げると自分のベッドへ向かった。私も眠かったので主と一緒に寝る事にした。

私は今日も普通の1日だったと振り返り眠りについた。

**（後書き）**

いろいろな意見や感想をもらえるとありがたいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6252a/>

---

猫の1日

2010年11月10日10時51分発行